



『関わりから生まれた それぞれの成長』

児童会引継ぎ式では、6年生の「想い」が5年生を始めとする下級生に引き継がれました。運営委員会は、「笑顔で安心して登校できる学校」 図書委員会は、「本が好きな人がたくさんいる学校」 体づくり委員会は、「健康で進んで体を動かせる学校」をめざすと、新委員長が宣言していました。6年生が大切にしてくれた「笑顔でいっぱい为学校」を土台にしながら、在校生のよさを生かした新しい「想い」をこれからも支えていきます。



3月の朝礼では、次のような話をしました。

この2枚の写真は、1年生の給食の様子を撮影したものです。4月の最初の頃は、先生方に助けをもらいながら、お皿を置く場所や準備の方法をスライドで確認し、ものすごく時間をかけて給食の準備をしていました。ところが、2月になると自分たちでどんどん準備をし、声を掛け合いながら1年生だけで準備をしている姿が見られるようになりました。この2枚の写真の間には、どんなことがあったのでしょうか？



第1に、1年生の皆さんは、保育園や幼稚園で身に付けてきたことを生かしていました。上井出保育園の様子を見せてもらったことがあるのですが、特に年長さんは、おやつを食べるときの準備を自分の力でばっちり行っていました。つまり、給食の準備をする力を小学校でレベルアップさせることができたのです。



第2に、担任の先生が、1年生の皆さんの力を信じながら、もっと伸ばすことを心掛けていました。「こういうとき、どうしたらいいかな？」「今は何をするときかな？」と、1年生が頭をいっぱい使い、自分たちで動けるような声かけをするとともに、困らないようにさりげなく支えていました。上井出小で育てたい資質・能力の①進んで行動する力が育っていることの表れだと感じました。

第3に、給食に限らず6年生を中心に5・4・3・2年生の仲間が、1年生の皆さんにいっぱい関わって、心を育ててくれました。1年生の皆さんがやってもらってうれしかったことは、実は、6～2年生にとってもうれしいことにつながっています。関わっている写真を見直してみると、教えている6～2年生の皆さんの方が、もっと笑顔でいると気付きました。

1年生の成長は、それに関わった上井出小学校のみんなの成長でもあると感じています。1年生と関わったことで育まれた「自分の成長」を意識してみてください。上井出小で育てたい資質・能力の③協働する力は、令和7年度最後の1か月でもまだまだ伸ばせますよ。

